

福祉公社通信



4月号

発行日

平成 28 年 4 月 8 日

【第 37 号 (月刊)】

福祉公社は、武蔵野市が全国に先駆け、昭和 55 年に設立した在宅サービス提供機関です。
誌名「羅針盤」はご利用者を包括的に支援し、その人生と共に歩むサービスの基本姿勢を表したものです。

なごやかな春の陽に万物が、玲瓏と晴れ輝いているかのようです。
四月は鳥来月とも言われ、ツバメと共に渡る風が、
春のたけなわを伝えています。
福祉公社では新理事長が就任し、役職員一同、
こころ新たに平成 28 年度を迎えました。
今年度も、在宅福祉の充実に力を注ぎます。



<紙面から>

新理事長就任ご挨拶 ……1ページ

前理事長退任ご挨拶

地域健康クラブ閉講式 ……2ページ

みどりの輪

北町高齢者センター研修会 ……3ページ

お知らせ・リレーコラム ……4ページ

理事長就任ご挨拶

よろしくお願いたします



萱場 和裕

みなさま はじめまして。

4月1日の理事会で理事長に選任されました萱場と申します。

前任の長澤理事長とは、市役所の福祉部門で一緒に仕事をした間柄で、その後を引き継げることを光栄に思っています。

武蔵野市福祉公社は、35年の歴史を有する在宅福祉サービスのパイオニアで、設立当初に果たした役割はまことに先進的かつ普遍性を持ったものであったと理解しています。

しかし、世の中の流れは想像以上に早く、ともすると時代に取り残られてしまった一面もあったかと思えます。今はその方向性を転換する過渡期にあると考えています。

市民福祉の増進という目的はいささかもぶれることなく、より時代にマッチした福祉サービスの提供に努め、「住み慣れた場所でいつまでも安心して暮らせる」よう、お客様を支援してまいります。ご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願いいたします。

< 理事長経歴 >

昭和 54 年 3 月	早稲田大学法学部卒業
昭和 54 年 4 月	武蔵野市役所入庁
平成 15 年 7 月	福祉保健部生活福祉課長
平成 18 年 4 月	教育部教育企画課長
平成 19 年 10 月	教育部長
平成 24 年 4 月	水道部長
平成 28 年 3 月	武蔵野市役所定年退職





退任ご挨拶



長澤 博暁

日毎に、春が闖け行く今日この頃ですが、皆様には、お健やかに過ごしのことと存じます。

平成 23 年 4 月理事長に就任以来 5 年、この度 3 月 31 日を以て退任することとなりました。

在任中は、皆様から格別のご理解・ご協力を賜り、お蔭様で職責を全うすることが出来ました。

私の就任時に公社には解決すべき様々な課題がありましたが、役職員が心を一つに取組んでまいりました。

公益財団法人への移行、つながりサポート事業の創設等、福祉公社は新たなステージに立っています。

これからも公社には、時代の変化、要請に応じた様々な課題が生じると思いますが、有償在宅福祉サービスの創設が「現場での気づき」に端を発したように、実践の場から考察する公社の伝統を大切に、市民福祉の向上に力を尽くすようお願いしております。

引き続き、皆様には、ご指導・ご鞭撻のほど、よろしく願い申し上げます。

末筆ながら、皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げます。

～ 有終の美をかざる 第 27 期地域健康クラブ 閉講式 ～

平成 27 年度の地域健康クラブ閉講式が、3 月 22 日、市民文化会館で開催されました。

閉講式は 1 年間の受講の達成感を共有し、自分をほめ、周囲の人々に感謝する重要なイベントです。



同会館の改築工事のため、来年度以降、受講者が一堂に会しての閉講式は予定されていませんので、今回が事実上、最後の閉講式となります。

今年度は 1,153 名の皆様が受講され、3 分の 2 以上の出席による修了者が 924 名、皆勤賞 79 名、精勤賞は 68 名、年間の延べ受講者は 33,824 名でした。この活動実績は、受講者の皆様おひとりお一人が目指す、健康長寿への強いお気持ちを表していると言えます。受講者 111 人で発足した平成元年からの継続者は今も 10 人を数えています。

四半世紀以上の時を経て、変わらず受講者を魅了し続ける健康クラブの特長は、「みなぎる笑顔とパワー」で紡がれた受講者と健康プロモーターとの信頼のきずなであり、心と身体健康作りに努力する皆様を、心から応援し、いとおしむプロモーターの存在です。



受講者代表演技発表

多羅尾真理子氏は受講者代表ご挨拶で、クラブで推奨される「一読、十笑、百吸、千字、万歩」に言及されました。1 日に 1 回まとまった文を読み、10 回笑い、100 回深呼吸し、1,000 文字書き、1 万歩歩くことが内容です。

また、成蹊大学の体験学生は「受講者の皆様から元気を頂いた」、「高齢者観が一変した」、「机の上で勉強できないことを教えて頂いた」と、口々に感謝を述べていました。

まさにここは、世代を超えて、心と心の通い合う介護予防の実践コミュニティでもあります。

平成 28 年度から、健康クラブは介護予防事業の一環として、運動強度別に三分類され、講座数も増設されます。これからも、ヘルシーライフプロジェクトと福祉公社は、培ってきた健康クラブの良き伝統を継承し、市民の皆様の健康長寿にお役に立てるよう尽力いたします。



高齢者総合センター在宅介護支援センター 家族介護教室「みどりの輪」



～手軽に美味しく栄養を補う “低栄養よ さようなら”～

食の充実健康長寿の自立生活に欠かせない重要なことです。

そこで、みどりの輪では3月3日に、経験豊かな庵原管理栄養士を講師に迎え、手軽にできて栄養を補う食事について学びました。

ご参加の11名の市民の方々はグループで和気あいあいと会話を楽しみながら、白玉団子入りスープ、かぼちゃの茶巾、ブラマンジェを作りました。

この講座を通じて、カツオ節やコンブでしっかりとダシを取れば、塩分を少なくしても美味しく料理ができるコツを習得し、噛むことの大切さを再確認しました。

ご参加の皆様からは、「改めて食生活の大切さを教えて頂きました」、「素材を生かした素晴らしいごちそうでした」「自宅でも早速作ります」とご評価をいただきました。

今後も、日常生活のお役に立つ、楽しく実践的な講座を企画・開催します。



北町高齢者センター ボランティア日帰りバス研修会

～ 山崎倫子初代所長のこころざしを継承し、感謝するバスハイク ～



北町センターの運営にとって、多くのボランティアの皆様のご存在は不可欠ですので、ボランティア同士や職員との親睦を深めるために、バス研修会と親睦会を隔年で実施しています。

今年度は、多数のボランティアの皆様のご希望により、昨年逝去した山崎倫子初代所長の福祉のこころざしを確認・継承するために、墓参を兼ねたバス研修会を実施し、33名が参加しました。

往路の車中では、倫子先生の経歴紹介、センター開設前後の報道記事や倫子先生へのインタビューなどを配布し、先生がセンターにこめた思い、目指したものを再度学びました。

また、倫子先生・浩先生ご夫妻の思い出話が、職員や長年お付き合いのあった方々から語られ、先生の名前しかご存知ではないボランティアの方々に、ご夫妻の在りし日のお姿を伝えることが出来ました。

倫子先生は、当初、センターで演歌が歌われることに難色を示していましたが、実は、演歌が大好きだったこと、数年前からは浩先生との思い出の歌「愛して頂戴」を度々リクエストされていたこと、病床にあっても、手が痛くなるほど力強く握手をしてくださったことなど、人間味あふれるエピソードに、話しの花が咲きました。

先生ご夫妻は、浩先生の故郷である木更津市の市民霊園に仲良く眠っています（ちなみに浩先生の父上山崎直氏は木更津市長として著名でした）。一同は、由緒ある立派なお墓を掃除し、神道の榊と武蔵野市の水を供えて手を合わせ、先生ご夫妻のこころざしを継承していくことを心に刻みました。



ご利用者が明るく心豊かに過ごし、孤独感・疎外感を解消するセンターの家庭的雰囲気は、多くのボランティアの皆様のお力によります。

この研修会で再確認した先生ご夫妻の福祉理念をこれからも継承・発展させてまいります。

会社からのお知らせ

おいじたく講座 ～成年後見制度の基礎知識～

誰にでも訪れる老いに備え、元気なうちから準備して尊厳ある老後生活を築きましょう。

日時 4月25日(月) 13時30分から15時
場所 高齢者総合センター



～エンディングノート講座～

日時 4月22日(金) 13時30分から15時
場所 福祉公社1階会議室

問合せ 在宅サービス課権利擁護センター
・申込 ☎ 23-1165

北町高齢者センター 春のオープンガーデン

園芸ボランティアの皆様が丹精した今を咲き誇る花々をご覧ください。
お待ちしております🌸

日時 4月27日(水)

11時から13時

ウクレレミニコンサート

11時15分から45分

場所 北町高齢者センター

問合せ ☎ 54-5300



職員リレーコラム

第23回 << 片付け >>



総務課 工藤 正太郎

武蔵野市福祉公社総務課に異動となり、1年が経ちました。平成20年4月に武蔵野市に入庁しましたので、この春で社会人生活9年目となります。その行く先々で、必ず直面したのが、片付けです。

最初のA部署は、まだ現業が残っている部署でした。その名残の品々が多く残っており、倉庫は足の踏み場がない状態でしたので、半年ほどかけて片付けをしました。

次のB部署は、震災の影響をもろに受けたせいでしょうか、紙・電子データともに大変なことになっていました。事務室は足の踏み場がありませんでした。これは、約2年ほどかけて廃棄・整理をしました。

その次のC部署の紙・電子データの状態は、・・・大変なことになっていました。

在任期間中に綺麗にしたいです(TT)。2年目となりましたが、今年度もよろしくお願いたします。

⇒ 次回は権利擁護センター 高橋 大輔

編集・発行 公益財団法人 武蔵野市福祉公社

次号は平成28年5月10日発行予定です



武蔵野市福祉公社・ホームヘルプセンター武蔵野

東京都武蔵野市吉祥寺北町1-9-1

バス停「武蔵野八幡宮前」下車

☎0422-23-1165 (総務課、在宅サービス課)

☎0422-23-2611 (ホームヘルプセンター武蔵野)

武蔵野市立高齢者総合センター

東京都武蔵野市緑町2-4-1

バス停「武蔵野住宅」下車

☎0422-51-1975 (管理・社会活動センター)

☎0422-51-1974 (在宅介護支援・補助器具センター)

☎0422-51-2933 (デイサービスセンター)

武蔵野市立北町高齢者センター

東京都武蔵野市吉祥寺北町4-1-16

☎0422-54-5300 バス停「北町四丁目」から徒歩三分

業務時間 8:30~17:15 (全て共通)

福祉公社ホームページ

URL <http://www.fukushikoshiya.jp/>